

- 問1 古墳時代の展示において、当時の有力者の墓である古墳の内部に納められた「副葬品」が紹介されています。これらの中で、被葬者の権力や権威を示すとともに、当時の中国大陆との活発な交流を裏付ける代表的な資料として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 富山県公立入試 類似)
1. 魔除けや豊かな収穫を祈る儀式に用いられた、縄文時代の土製の人形である土偶
 2. 弥生時代に主に近畿地方を中心に広まり、祭りの道具として使われた青銅器の銅鐸
 3. 古墳の墳丘の頂上や周囲に並べられ、聖域を区切る役割を持っていた人や馬の形の埴輪
 4. 大陸との外交関係や支配者の権威を示すために墓に納められた、三角縁神獣鏡などの銅鏡
- 問2 5世紀頃に現在の大阪府堺市などに造られた大仙古墳のような巨大な前方後円墳について、当時の社会背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 茨城県公立入試 類似)
1. 稲作の豊作を祈るために、特定の支配者を持たない集落の人々が共同で管理する祭祀場であった。
 2. 渡来人がもたらした仏教の教えを広めるための寺院として機能していた。
 3. 大和政権（ヤマト王権）の大王が、膨大な労働力を動員できる強力な支配権を及ぼしていた。
 4. 東北地方から九州地方まで、各地の有力な豪族が中央政権から完全に独立して統治していた。
- 問3 千葉県最大級の前方後円墳である内裏塚古墳が築造された古墳時代の中期には、大陸との交流を通じて新しい製作技術が導入されました。この時期に生産が始まった「須恵器」の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 青銅を原料として鑄造され、祭祀の道具として用いられた釣鐘型の道具
 2. 弥生土器の流れを汲み、野焼きによって比較的低温で焼かれた赤褐色の土器
 3. 表面に魔除けの意味を持つ縄目の文様をつけた、厚手で黒褐色の土器
 4. 山の斜面などに作られた窯を使い、高温で蒸し焼きにした灰色の土器
- 問4 5世紀中頃に造られた日本最大の面積を誇る大仙陵古墳（仁徳天皇陵古墳）の所在地について、日本列島を4つの地域に分けたとき、この古墳が位置する場所を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2020年 東京都公立入試 類似)
1. 百舌鳥・古市古墳群が広がる、近畿地方（大阪府付近）
 2. 屋久島などの自然遺産がある、九州地方南端（鹿児島県付近）
 3. 富士山が位置する、中部地方（静岡県付近）
 4. 中尊寺金色堂などの文化遺産がある、東北地方（岩手県付近）
- 問5 4世紀末から5世紀頃、ヤマト王権は大和地方を中心に勢力を拡大しましたが、その過程で地方の有力な豪族に対し、権力の象徴である銅鏡などを与える政策をとりました。この行為の主な目的として、当時の政治状況から考えて最も適切なものはどれですか。 (2024年 山口県公立入試 類似)
1. 鉄製の武器を効率的に生産するための最新技術を、各地の豪族に共有するため
 2. 全国の一律な税制を確立するために、度量衡の基準として鏡を配るため
 3. 地方豪族との政治的な結びつきを強め、自身の支配下に置くため
 4. 地方豪族に仏教を布教し、大陸の進んだ思想で精神的な統一を図るため
- 問6 古墳時代中期（5世紀）の日本において、近畿地方に巨大な前方後円墳が相次いで作られた一方で、熊本県や埼玉県という離れた地域から同一の大王名が刻まれた鉄剣が発見されている理由として最も適切なものを、次の選択肢の中から1つ選びなさい。 (2025年 宮崎県公立入試 類似)
1. 地方の首長たちが独自に近畿地方の技術を模倣し、政治的影響力を強めたから
 2. 九州地方の邪馬台国が全国の首長を従えて巨大な墳墓を各地に建造させたから
 3. 中国の皇帝から与えられた鉄剣を全国の首長が共有して保持していたから
 4. 近畿地方を本拠地とするヤマト王権が地方の首長と結びつき、支配勢力を広範囲に拡大させたから
- 問7 5世紀頃、大阪府堺市に築かれた大仙古墳（大仙陵古墳）のような巨大な前方後円墳が造られた歴史的な背景を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
1. 律令制度が確立し、戸籍に基づいて全国の民衆が大規模な土木作業に動員できるようになった。
 2. 稲作が普及し、食料を貯蔵するための大規模な高床倉庫と一体化した墓が求められた。
 3. 仏教の伝来とともに寺院建築の技術が導入され、それが大規模な墳墓の造成に利用された。
 4. 「大王」と呼ばれる首長を中心とした大和政権（ヤマト王権）の権力が強大化した。
- 問8 5世紀、ヤマト王権の首長たちは「倭の五王」として中国の南朝へ使者を派遣し、朝貢を行いました。この外交活動の主な目的を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 山口県公立入試 類似)
1. 邪馬台国の卑弥呼が魏から受けた称号と同様の権威を背景に、九州地方の豪族を支配するため
 2. 隋に対して対等な立場での外交を求め、中国の進んだ律令制度をいち早く導入するため
 3. 朝鮮半島での軍事的な優位性や鉄資源の確保に加え、国内での政治的地位を認めてもらうため
 4. 仏教の公伝をきっかけとして、大陸の進んだ建築技術や工芸品を組織的に輸入するため
- 問9 古代日本における漢字の伝来とその影響について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。大陸から移住してきた人々の活動や、宗教的な背景を踏まえて選びなさい。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)
1. 聖徳太子が大陸へ渡った際、現地で使われていた文字を日本独自の文字として持ち帰り、仏教の布教に用いた。
 2. 渡来人が仏教の経典とともに漢字を伝え、日本人が公的な記録や情報の伝達を行う手段として定着した。
 3. 縄文時代の交易を通じて大陸の文字が広まり、その後、仏教を理解するための補助的な記号として漢字が発明された。
 4. 平安時代の貴族が、仏教の教えを分かりやすく書き換えるために、漢字をもとにして日本で初めて文字を作成した。
- 問10 古墳時代において、近畿地方から始まったとされる前方後円墳が、後に徳島県や香川県など近畿以外の地域でも築かれるようになりました。この「前方後円墳」が普及した主な要因として、当時の政治体制の仕組みから説明したものとして適切なものはどれですか。 (2023年 愛知県公立入試 類似)
1. 地方の豪族が大和政権に対抗するために、あえて近畿とは異なる独自の形式の古墳を築いたため
 2. 大和政権と結びついた地方の豪族が、自らの地位や権威を示すために共通の形式で墓を造ったため
 3. 大和政権が全国に国司を派遣し、地方の文化をすべて近畿のものに統一する政策をとったため
 4. 班田収授法によって、全国の農民が等しく古墳を築く権利を認められたため
- 問11 5世紀頃、大和政権は近畿地方から遠く離れた地域まで勢力を拡大しました。各地の有力者の墓（古墳）から、当時の王の名称が刻まれた鉄剣や鉄刀が発見されている事実は、当時の政治体制についてどのようなことを示していますか。その説明として最も適切なものを選びなさい。 (2017年 愛知県公立入試 類似)
1. 大和政権の権力が、九州から関東に及ぶ広い地域の有力者に及んでいたこと
 2. 征夷大將軍が派遣され、東北地方まで完全に平定されたこと
 3. 仏教の伝来によって、全国の有力者が同じ信仰を持つようになったこと
 4. 地方の有力者が、大和政権を介さず独自に大陸と外交を行っていたこと
- 問12 5世紀後半の大和政権において、最高権力者が名乗った称号は何ですか。埼玉県の稲荷山古墳から出土した金錯銘鉄剣に、「獲加多支鹵」という人名に続けて刻まれている名称を答えなさい。 (2019年 長崎県公立入試 類似)
1. 大王
 2. 將軍
 3. 執權
 4. 天皇